

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年11月25日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	長岡京市役所	代表者名	八島 杜申子
担当者部署	広報発信課	連絡先電話番号	075-955-3143
担当者役職		担当者氏名	
住所	617-8501 京都府長岡京市開田1-1-1		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	太田垣 恭子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	2時間という限られた時間配分のなかで、スムーズかつ効果的な研修を進めるためにタイムスケジュールを組み立てていただきました。
アドバイザーへの要望事項	なし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月21日	9時30分	11時30分		120
3-2. 派遣場所	会場名	長岡京市役所		最寄駅	長岡天神駅
	所在地	京都府長岡京市開田1-1-1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩5分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 情報公開・市民対話担当、広報戦略担当	人数	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) オープンデータ研修当日のタイムスケジュールと内容が未定であった		
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	カジュアルな雰囲気でお互い話しやすく、全員が意見を出せるような研修とし、学びを深められる機会にすること		
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	①オープンデータ研修当日のタイムラインについて ②オープンデータを知らない担当者に、どうやって興味を持ってもらうか ③オープンデータの実際の活用例		
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	①オープンデータ研修の具体的なタイムラインの決定 概論→実際の活用例を体験→各担当課でどんなデータがあるか案出し→グループワーク→発表・振り返り ②自分の課のメリットとして、業務効率化につながることも含めて、研修で伝えること ③活用例のひとつとして、位置情報や統計情報を組み合わせ、マップとして利用できる。利用するソフトによっては人口などが色分けされて地図表示されるため、見やすく、その見たい情報も閲覧者側で選択できるなど、利便性がある。		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	なし		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 なし		
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある	
事業の最終的な目指す姿	オープンデータ担当課や各課とのコミュニケーションがより活発になり、データの利活用について相談しやすくなること		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

